

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制対象貨物に該当いたします。本商品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているIPテレホンUD UD-主装置の取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

Microsoft、Windows、およびWindows Vistaは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

危険

- 電池パックは本商品に装着し、専用の充電器を使用して充電してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない
 - ・ 直接はんだ付けしない
 - ・ プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■本商品の設置場所について

⚠ 警告

- 本商品や電源アダプタのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



⚠ 注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お願い 

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、UD-主装置などの設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは、本商品が使用できないことがあります。



●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。本商品の液晶ディスプレイ上で電波の強さを確認して、通話できる範囲を確かめてください。

●本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- ・UD-主装置とUD-コードレス電話機間、UD-コードレス電話機と別のUD-コードレス電話機の間、またはUD-コードレス電話機とひかりパーソナルフォンの間は約3 m以上離してご使用ください。
- ・同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- ・隣接する電話回線2本以上に、それぞれコードレスホンを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。

●UD-主装置のアンテナは床面に対して垂直に立ててお使いください。

- ・アンテナの状態が悪いと電波が飛びにくくなり、雑音が入る場合があります。
- ・UD-標準電話機と本商品の間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてからUD-主装置を設置してください。

●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

■本商品のお取り扱いについて



- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 充電器の電源アダプタは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 充電器の電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、本商品を落としたり、本商品内部や電源アダプタに異物や水などが入った場合は、すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

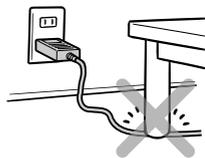
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

警告

- 充電器の電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



- 充電器の電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 本商品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品をお手入れするときは、充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。



- 自動車などの運転中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

- 歩行中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。転倒、事故などの原因となることがあります。

- UD-コードレス電話機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



⚠ 警告

●本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電池パックを外すか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
・電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
・医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用しないでください。

●充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●本商品を熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷により、火災・感電の原因となることがあります。



●充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



⚠ 注意

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

●本商品の充電器底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お願い 

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

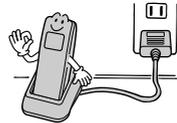
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも拒否した電話からの着信は着信音が鳴りませんのでご注意ください。

- UD-主装置の電源アダプタを抜いたままにしないでください。本商品が使えません。

- 充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。

- ・ 電池が消耗すると本商品が使用できません。
- ・ 本商品が充電できません。
- ・ 本商品のクイックモード設定がオンに設定されている場合、充電中に充電器の電源アダプタが外れると、本商品は充電器から取り上げた状態となります。



- 本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは確実に充電器に置いて、「充電」が表示されることを確認してください。

- 停電のときは、本商品は使用できません。

- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

お願い

●本商品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ・ぬらさないでください。
- ・浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- ・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- ・受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- ・UD-コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- ・ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



●本商品は無線LANを使用し、通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、有線型の電話機のご利用をおすすめします。

●ハンドフリー（スピーカホン）でお話しのとき、以下の点に注意してください。

- ・送話口の前には、ものなどを置かないでください。また、送話口との距離は50 cm以内を目安としてお話しください。
- ・送話口を手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
- ・以下のような場合、スピーカからの音が途切れたり、聞こえなくなることがあります。
 - 外の相手の方のお話が終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
 - 外の相手の方と同時に話し始めたとき
 - 周囲の騒音が大きい場所に置いたとき
- ・壁など遮蔽物の近くに本商品を置いたときは、こちらの声が相手に聞こえにくくなる場合があります。周囲に遮蔽物のない場所でお使いください。

●本商品をお使いのときは、以下の点に注意してください。

- ・UD-コードレス電話機どうしの内線通話のあとは、他のコードレス電話機が使用できるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
- ・外線通話、内線通話のあと、すぐに次の操作を行っても受け付けないことがあります。

お知らせ

●トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

電波干渉について

本商品の無線方式には、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用する無線LANを用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、Bluetoothなど）が使用していますので、電波の干渉により、お話中に音声途切れたり聞き取りにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。下記の内容に注意してください。

お願い

● 電子レンジなどを使用中に、近くで使用すると、音声途切れたり、使えなくなることがあります。充電器は電子レンジなどから離して設置し（目安：3 m以上）、UD-コードレス電話機本体も電子レンジなどの近くで使わないでください。

● ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。

● 他の無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品を使用すると、音声途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を与えることがあります。本商品を、他の無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。

● その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。

- ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム
- ・ 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・ 火災報知器
- ・ マイクロ波治療機
- ・ 自動ドア、自動制御機器
- ・ アマチュア無線局
- ・ Bluetooth対応機器やVICS（道路交通網システム）など

● 本商品は、2.400～2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS方式」、想定干渉距離は30 mです。本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

2.4 D S 3

電波に関するご注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合には、当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。初期化（●P4-14）の操作を行って消去するか、当社のサービス取扱所にご相談ください。

※UD-主装置に保持されているお客様固有情報の消去については取扱説明書『②総合編』を参照してください。

本書の見かた

この取扱説明書は、IPテレホンUDの内線電話機としてご利用になれるUD-コードレス電話機の機能を説明しています。UD-主装置の取扱説明書とあわせて参照してください。

IPテレホンUD UD-主装置取扱説明書②総合編

IPテレホンUD UD-主装置取扱説明書⑤詳細設定編

この取扱説明書の構成

第1章 お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

第2章 電話をかける／受ける

電話をかけたり、受けたりする基本機能や便利な機能について説明しています。

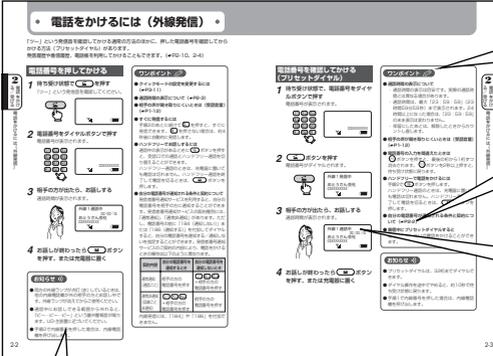
第3章 より便利に使う

2、4章の内容のほか、利用できる便利な機能について説明しています。

第4章 ご参考に

電話帳のバックアップや文字入力、初期化などのほか、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明ページの見かた



ワンポイント
 知っておくと便利な事項、操作へのアド
 バイスなどの補足説明を示しています。

参照ページ
 参照するページ番号、または別の説明書
 のタイトルを『』で囲んで表記します。

画面は、操作の結果表示される状態を表
 します。

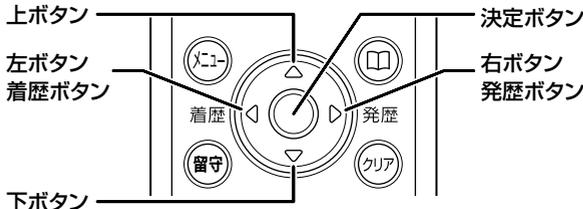
お願いまたはお知らせ

〈お願い〉 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商
 品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招
 く内容を示しています。

〈お知らせ〉 本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■上下左右ボタン／決定ボタンの表記

本書では、上下左右ボタン／決定ボタンについて、次のように表記しています。



操作説明では次のように表現します。

〈例〉

上下左右ボタン
 で選択する



上下左右ボタン
 で選択し、決定
 ボタンを押す



決定ボタンを押す



上下ボタンで選
 択する



上下ボタンで選
 択して決定ボタ
 ンを押す



目次

安全にお使いいただくために 必ずお読みください.....	2
本書の見かた	14
目次.....	16

1 お使いになる前に

特長.....	1-2
セットを確認してください.....	1-4
各部の名前	1-5
ディスプレイの見かた.....	1-7
UD-コードレス電話機を設定するには..	1-10
バージョンアップするには	1-11
音量を調節するには.....	1-12
受話音量を調節する.....	1-12
スピーカ受話音量を調節する	1-12
着信音量を調節する.....	1-13
メニュー操作について.....	1-14
メニューを検索する.....	1-14
メニュー番号を入力する	1-15

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
電話番号を押してかける	2-2
電話番号を確認してかける （プリセットダイヤル）.....	2-3
電話帳を使ってかける.....	2-4
電話がかかってきたときは（外線着信）...2-5	
電話を受ける.....	2-5
通話中にかかってきた電話を受ける....	2-6
相手に待っていただく（保留）.....	2-7
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-8
発信履歴／着信履歴を利用するには.....	2-10
発信履歴／着信履歴から電話をかける	2-10

発信履歴／着信履歴から電話帳に登録する	2-11
発信履歴／着信履歴を1件削除する...2-12	
発信履歴／着信履歴を全件削除する..2-13	

電話帳を使うには.....2-14

電話帳に登録する.....	2-14
電話帳を修正する.....	2-16
電話帳を削除する.....	2-17

3 より便利に使う

留守番電話を利用するには.....	3-2
外出する前に（留守の設定）.....	3-2
留守が設定されている着信番号を 確認する	3-2
用件を聞く（留守の解除）.....	3-3
用件をすべて消去する.....	3-4
ドアホン（別売）を利用するには.....	3-5
ドアホンからの呼び出しに応答する....	3-5
ドアホン呼び出す.....	3-6
いろいろな機能を設定するには.....	3-7
着信音を確認する	3-7
キータッチトーンを設定する	3-8
ディスプレイのバックライトを設定する	3-9
ディスプレイのコントラストを調整する	3-10
クイックモードを設定する.....	3-11
メニューボタンで設定できる機能の一覧	3-12

4 ご参考に

設定情報／電話帳をバックアップするには	4-2
バックアップソフトをインストールする	4-2
USBドライバをインストールする	4-3
バックアップデータを保存する	4-5
電話帳や設定を復元する	4-6
バージョンアップする	4-7
文字入力のしかた	4-9
漢字やひらがなを入力する	4-9
カタカナを入力する	4-10
英字を入力する	4-10
数字を入力する	4-11
ボタンと文字の割り当て一覧表	4-12
ナンバー・ディスプレイを利用するには	4-13
本商品をお買い求め時の状態に戻すには	4-14
付属品・オプション品をご利用になるには	4-15
こんな音がしたら	4-16
故障かな?と思ったら	4-17
索引	4-20
搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報	4-23
仕様	4-29
保守サービスのご案内	4-30



第 1 章

お使いになる前に

特長	1-2
セットを確認してください	1-4
各部の名前	1-5
ディスプレイの見かた	1-7
UD-コードレス電話機を設定するには	1-10
バージョンアップするには	1-11
音量を調節するには	1-12
メニュー操作について	1-14



特長

1
お使いに
なる前に

特
長

本商品は、IPテレホンUD UD-主装置に接続して使用します。IPテレホンUDは、家族それぞれが自分に合った操作方法で使えるユニバーサルデザインの電話機です。

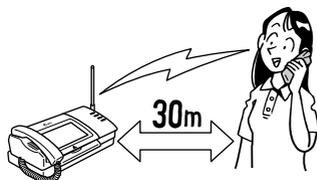
無線LAN／ひかり電話対応

IEEE802.11b規格の無線LANに準拠した、「ひかり電話」対応のUD-コードレス電話機です。ひかり電話の付加サービスをご利用になると、電話を同時に2回線分使用したり、最大5個の電話番号を利用することができます。（☛『IPテレホンUD UD-主装置取扱説明書②総合編』）

半径30 m程度なら持ち運びが自由

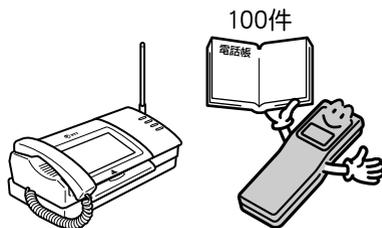
UD-主装置から半径約30 m程度（通話可能エリア）まで、お話ししながら移動できます。

※通話可能エリアとは、間に遮蔽物のない見通せる状態での距離です。



使いやすい電話帳

UD-コードレス電話機に100件まで電話帳を登録できます。



留守番電話の操作

本機からUD-主装置の留守番電話の設定、解除ができます。



■UD-コードレス電話機の動作について

- 使用中や充電中、UD-コードレス電話機があたたかくなることがありますが、故障ではありません。そのままご使用ください。
- 下記のような場合には、本商品の通信品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - ・無線の伝送速度が十分でない場合
 - ・他の無線LANシステムや、電子レンジ等の外来ノイズが多くなった場合
 - ・本商品を遮蔽物の多い場所で使用しようとしたとき
 - ・UD-主装置からの情報が本商品に届かなかったとき
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
- 通話中にUD-主装置の設定を行いますと、通話が途切れることがあります。
- UD-主装置以外に、UD-主装置と無線で接続された無線リピータを自動的に切り替えることができます。(➡P3-12)
無線リピータを設置することにより、通話中、待ち受け中に本商品を移動させることができます。
着信中などに移動すると、着信を停止し、待ち受け状態に戻ることがあります。
- 圏外などへの移動により、本商品の状態とランプ表示が異なることがあります。このような場合は、次の手順で再起動を行ってください。
 - ①待ち受け状態で(📞)ボタン、(4📞)📞の順に押す
 - ②以降、メッセージに従って操作する
 また、UD-主装置からの情報が届かなかったなど、データのエラーを検出した場合には自動的に再起動することがあります。
着信中に圏外へ一度移動したときは、着信が停止し、待ち受け状態に戻ることがあります。
- 電波干渉などにより、UD-主装置からの情報が受信できないときは、正常に動作しないことがあります。そのような場合は、待ち受け状態で決定ボタンを2秒以上押して正常に動作するか確認してください。それでも正常に動作しない場合は、再起動してください。
- UD-主装置やUD-主装置に接続されたひかり電話対応機器の電源が切れたり、再起動したりしたときは通話が切れます。
- 本商品に表示されている時刻はあくまで目安としてご利用ください。

● セットを確認してください ●

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

1
お使用に
なる前に

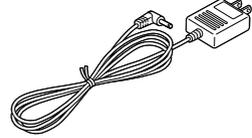
セットを確認してください



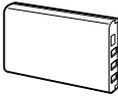
UD-コードレス電話機 (1台)



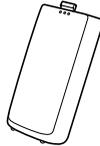
充電器 (1台)



電源アダプタ (1本)

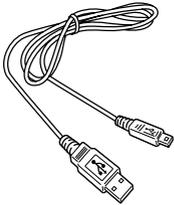


電池パック (1個)



電池カバー (1個)

■付属品



USBケーブル (1本)



CD-ROM (1枚)



壁掛用木ネジ・ワッシャー
(各2個)



最初にお読みください
(1部)



取扱説明書 (1部)



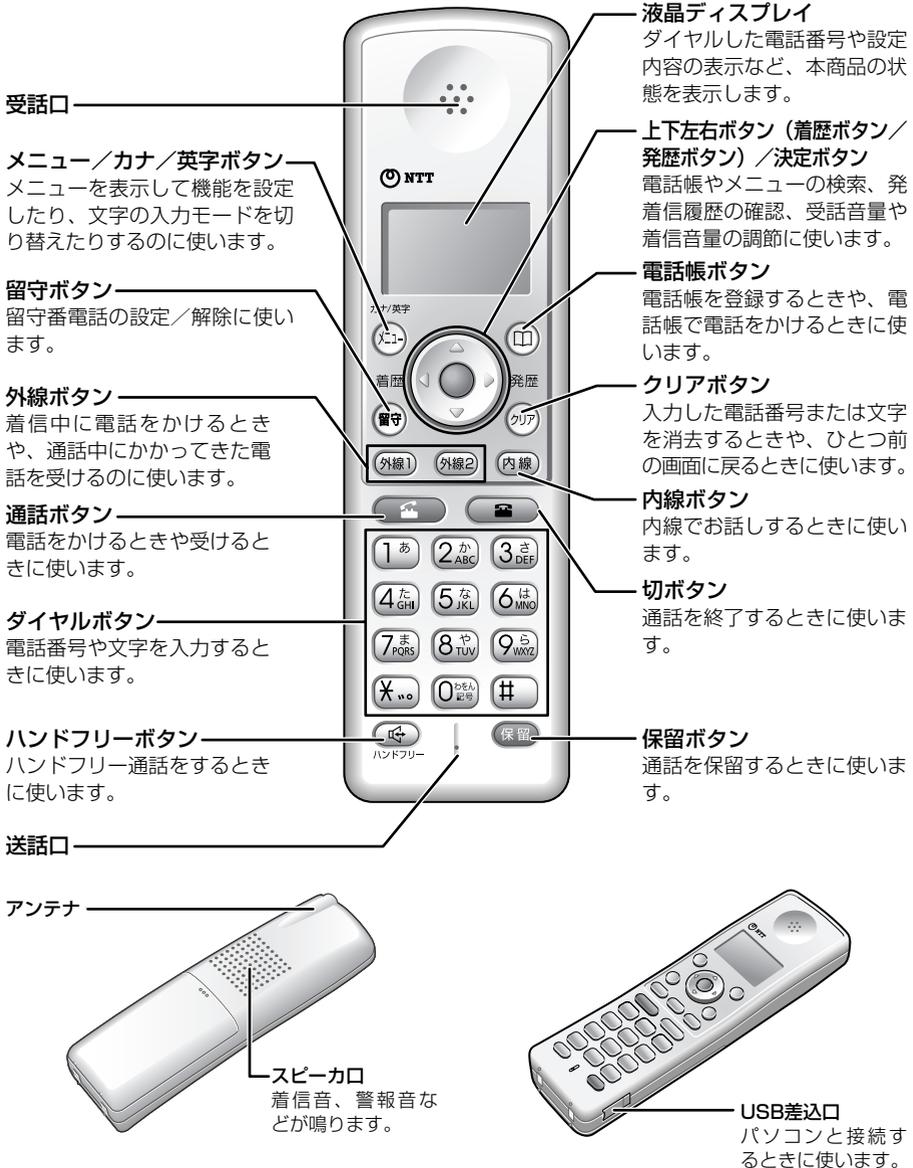
無線注意シール (1枚)

- NTT通信機器お取扱相談センタシール (1枚)
- 保証書 (1枚)

各部の名前

お使いになる前に

各部の名前



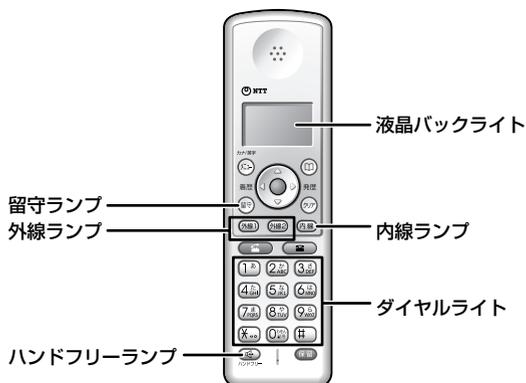
※ ダイアルボタン (5) の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前

1
お使いに
なる前に

各部の名前

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

点灯



点滅



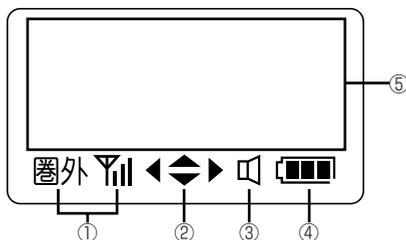
ランプの種類	ランプのつきかた (色)	本商品の状態
留守ランプ	2回点滅 (赤)	すべての着信番号に留守が設定されているとき
	2回点滅 (緑)	一部の着信番号に留守が設定されているとき
	点灯 (赤)	留守番電話が応答しているときや他の内線電話機で留守番電話の操作をしているとき
外線ランプ	点灯 (緑)	本商品でお話し中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外線でお話し中のとき
	点滅 (赤)	電話がかかってきたとき
	遅い点滅 (緑)	本商品でお話しを保留中のとき
	遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中のとき
内線ランプ	点滅 (緑)	内線で呼び出されているとき
	点滅 (赤)	ドアホンで呼び出されているとき
	点灯 (緑)	内線通話やドアホン通話をしているとき
ハンドフリーランプ	点灯 (緑)	ハンドフリー機能を使用中のとき
ダイヤルライト	点灯 (緑)	ダイヤルボタンなどの操作をしているとき
液晶バックライト	点灯 (白)	

ディスプレイの見かた

Ⅰ
お使いに
なる前に

ディスプレイの見かた

【液晶ディスプレイの見かた】



■こんなときに表示されます。

表示	意味
①圏外ピクト アンテナピクト	UD-主装置から受けている電波の強さを4段階で表します。「圏外」はUD-主装置との通信可能エリア外であることを表します。 <p>強い</p> <p>弱い</p> <p>圏外 圏外ではお話しすることはできません。</p>
②上下左右ピクト	上下ボタンまたは左右ボタンで項目を移動することができるときに点灯します。
③スピーカピクト	ハンズフリー機能を使用中のときに点灯します。
④電池ピクト	電池残量の目安を4段階で表します。 電池残量警報状態になると、電池の枠が点滅します。電池残量が少なくなってきたら、できるだけ早めに充電するようにしてください。(▶P1-8、『最初にお読みください』) <p>電池残量多 (充電中は点滅します。)</p> <p>電池残量中</p> <p>電池残量小</p> <p>電池残量なし</p>
⑤表示部	ダイヤルした電話番号や設定内容を表示します。

ディスプレイの見かた

1
お使いに
なる前に

ディスプレイの見かた

■電波の状態確認について

- 本商品は無線を使用しているため、と表示されていても、通話が途切れることがあります。
- UD-主装置から30 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合がありますので、あらかじめ内線通話によりお話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
- UD-主装置とは約3 m以上離してご使用ください。UD-主装置との距離が近いとアンテナピクト表示が弱くなり、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 電波の強い場所でもUD-主装置などに登録動作を行っているときは、電話をかけたり受けたりできません。
- 通話中に圏外になると、通話が切れることがあります。速やかに電波状況の良い場所に移動してください。

■電池の使用可能時間について

待ち受け：約60時間

連続通話：約4.5時間

- UD-主装置のBeacon IntervalおよびDTIMが以下の条件の場合、上記の値になります。
Beacon Interval：100ms
DTIM：10
- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲の温度や電池の状態によって変わります。
- 待ち受け時間は、UD-主装置からの電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、上記の数値とは異なります。
- ランプが表示されていると電池の消費が多くなり、上記の数値とは異なります。数値はランプの使用状態により変わります。
- 「充電してください」の表示が出た場合は、通話中、発信中以外はダイヤルボタンが入力できなくなります。
- 使用可能時間はあくまで目安として使用してください。
- 電池パックは消耗品です。電話機の使用頻度にもよりますが、おおむね2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、新しい電池に交換してください。
- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず5時間以上充電してください。

■こんな画面が表示されたときは

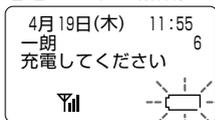
圏外ピクトが表示される時



電波の弱い場所や電波の届かない場所にいるために、電話をかけた
り受けたりできません。

対処方法：アンテナピクトが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

電池ピクトが点滅し、「充電してください」と表示されているとき



電池がなくなりかけています。このとき、「ピー」という電池残量警
報音が鳴ります。(●P4-16)

対処方法：充電してください。

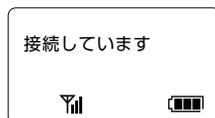
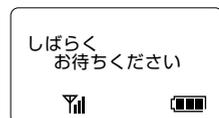
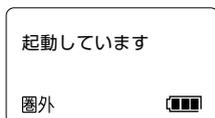
「使用できません」と表示されているとき



UD-主装置と接続できていないため、通話ができません。

対処方法：しばらくお待ちください。しばらく待っても待ち受け状態にならない場合は再起
動してください。(●P1-3「UD-コードレス電話機の動作について」)

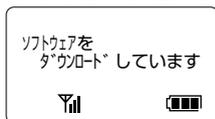
「起動しています」や「しばらくお待ちください」または「接続しています」と表示され ているとき



UD-主装置に接続
中です。

対処方法：起動と接続が終了し、待ち受け状態になるまでしばらくお待ちください。
(●P1-10)

「ソフトウェアをダウンロードしています」と表示されているとき



バージョンアップを行うために、ソフトウェアをダウンロードして
います。

対処方法：ダウンロードの終了後、再起動して待ち受け状態になるまでしばらくお待ちくだ
さい。(●P1-11)

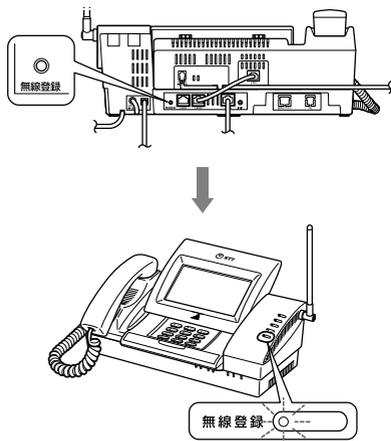
● UD-コードレス電話機を設定するには ●

1
お使
い
な
る
前
に

UD-コードレス電話機を設定する前に

自動登録を実行することにより、UD-主装置に接続して必要な情報を取得し、UD-コードレス電話機を使用できるようにします。

自動登録を実行する前に、UD-主装置の無線登録スイッチを2秒以上押し、無線登録ランプが赤く点滅するのを確認します。



4 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す

自動登録を開始します。登録が完了すると再起動し、待ち受け状態に戻ります。



自動登録しています



ワンポイント

- お買い求め時、最初に起動したときは起動直後に手順3の画面が表示され、圏外ビクトが表示されます。手順3～4の操作をして自動登録を実行してください。

お知らせ

- 電池残量が少なくなっていると、自動登録が完了できないことがあります。十分に充電してから自動登録してください。
- 自動登録実行中、他のUD-コードレス電話機からは登録中のUD-主装置を利用できません。
- 1回の自動登録で登録できるUD-コードレス電話機は、1台のみです。
- 他のUD-コードレス電話機や無線端末が通話中のあるとき、自動登録を実行することはできません。
- UD-主装置のお買い求め時は、UD-コードレス電話機と他の無線端末とを合わせて2台まで接続できます。無線端末を3台以上接続する場合は、UD-主装置の設定を変更してください。詳しくは「IPテレホンUD UD-主装置取扱説明書⑤詳細設定編」を参照してください。

1 待ち受け状態で、**X**ボタンを押す

カナ/英字



Xメニュー
1: 動作モード設定
2: 留守設定表示
3: 設定値表示



2 上下ボタンで「留守設定」を選択し、決定ボタンを押す



留守設定
1: 自動登録
2: リモート使用
3: タンクポート



3 上下ボタンで「自動登録」を選択し、決定ボタンを押す



自動登録しますか？
1: はい
0: いいえ



バージョンアップするには

ダウンロード機能を「する」に設定すると、本商品は定期的にインターネット上の当社サーバと通信し、最新ソフトウェアの確認をすることができます。設定により最新ソフトウェアがあった場合にはディスプレイに更新情報が表示され、再起動後に自動的にバージョンアップを行います。

お買い求め時は、「しない」に設定されています。

！
お使用になる前に

バージョンアップするには

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

カナ/英字



2 上下ボタンで「留守設定」を選択する



3 決定ボタンを押し、上下ボタンで「ダウンロード」を選択する



4 決定ボタンを押し、上下ボタンで「する」を選択する

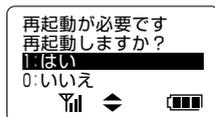


5 決定ボタンを押し、 ボタンを2回押す

再起動選択画面が表示されます。



6 「はい」が選択されていることを確認する



7 決定ボタンを押す

自動バージョンアップが設定され、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ ㊦

- ダウンロード設定（お買い求め時は「しない」）を「する」にすると、当社サーバに最新ソフトウェアがあるときディスプレイに更新情報が表示されます。そのあと再起動することにより自動的にバージョンアップを行います。

音量を調節するには

1
お使用に
なる前に

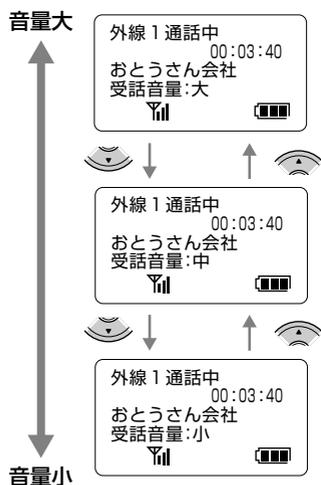
音量を調節するには

受話音量を調節する

通話中に受話音量を3段階に調節できます。

1 通話中に上下ボタンを押す

下ボタンを押すと小さく、上ボタンを押すと大きく音量が変わります。調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ ㊦

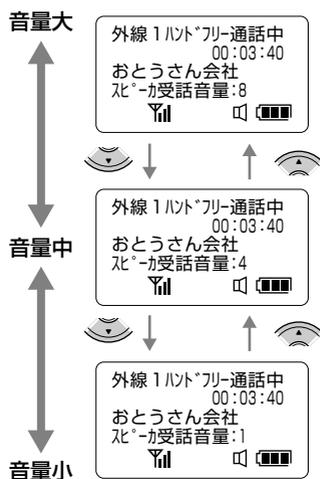
- 設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- 通話中でなくても「ツー」という発音音が聞こえているときや相手の方を呼び出しているときなども、受話音量を調節することができます。

スピーカ受話音量を調節する

ハンズフリー通話のスピーカ受話音量を8段階で調節できます。

1 ハンドフリー通話中に、上下ボタンを押す

下ボタンを押すと小さく、上ボタンを押すと大きく音量が変わります。調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ ㊦

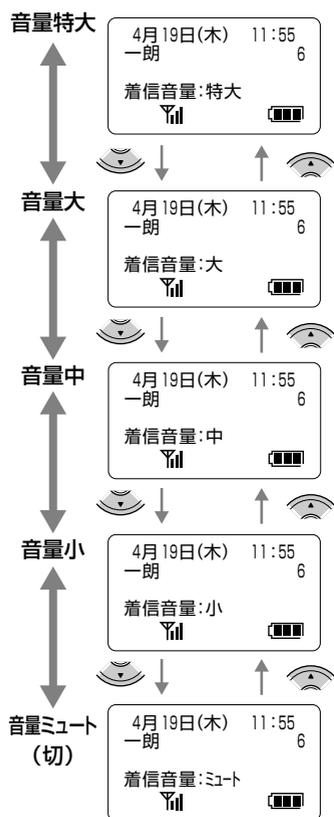
- 設定したスピーカ受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- ハンドフリー通話中以外でも  ボタンを押すことでスピーカ受話音量を調節することができます。

着信音量を調節する

電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを5段階で調節できます。

1 待ち受け状態または着信中に、上下ボタンを押す

下ボタンを押すと音量が小さくなり、上ボタンを押すと音量が大きくなります。調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



メニュー操作について

1 お使いになる前に

メニュー操作について

機能の設定を呼び出すには、メニューを検索する方法とメニュー番号を入力する方法の2とおりがあります。本書では、メニューを検索する方法で説明しています。

メニューを検索する

〈例〉メニュー番号14（クイックモード設定）の場合

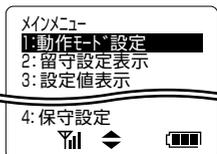
1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

カナ/英字

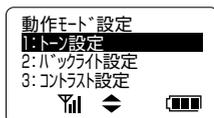


2 上下ボタンで「動作モード設定」を選択する

メニューがスクロール表示されます。



3 決定ボタンを押す



4 上下ボタンで「クイックモード設定」を選択する



5 決定ボタンを押す

クイックモード設定画面が表示されます。



6 以降、登録設定操作を行う

ワンポイント

- ひとつ前の画面に戻るには  ボタンを押します。
- 待ち受け状態に戻るには  を押します。

メニュー番号を入力する

〈例〉メニュー番号14（クイックモード設定）の場合

1 待ち受け状態で、**クイックモード** ボタン、**1** ボタン、**4** ボタンの順に押す

クイックモード設定画面が表示されます。



2 以降、登録設定操作を行う

ワンポイント

- メニューで設定できる項目とメニュー番号は？（☞P3-12）
- クイックモードの設定を変更するには（☞P3-11）



第2章

電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
電話がかかってきたときは（外線着信）.....	2-5
相手に待っていただく（保留）.....	2-7
内線でお話するには（内線通話）.....	2-8
発信履歴／着信履歴を利用するには.....	2-10
電話帳を使うには.....	2-14



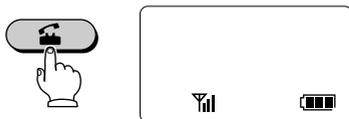
● 電話をかけるには（外線発信） ●

「ツ」 という発信音を確認してからかける通常のほか、押した電話番号を確認してからかける方法（プリセットダイヤル）があります。

発信履歴や着信履歴、電話帳を利用してかけることもできます。（☛P2-10、2-4）

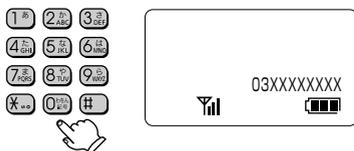
電話番号を押してかける

1 待ち受け状態で  を押す
「ツ」 という発信音を確認してください。



2 電話番号をダイヤルボタンで押す

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しする

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら  ボタンを押す、または充電器に置く

お知らせ ㊦

- 両方の外線ランプが点灯（赤）しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話中です。外線ランプが消えてからご使用ください。
- 通話中にお話できる範囲から外れると、「ピー…ピー…ピー」という圏外警報音が鳴ります。UD-主装置に近づいてください。
- 手順2で内線番号を押した場合は、内線電話機を呼び出します。

ワンポイント

- クイックモードの設定を変更するには（☛P3-11）
- 通話時間の表示について（☛P2-3）
- 相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P1-12）
- すぐに発信するには
手順2のあとに続けて  を押すと、すぐに発信できます。 を押さない場合は、約4秒後に自動的に発信します。
- ハンドフリーでお話しするには
通話中の表示があるときに  ボタンを押すと、受話口での通話とハンドフリー通話を切り替えることができます。
ハンドフリー通話のときは、充電器に置いても電話は切れません。ハンドフリー通話を終了して電話を切るときは、 ボタンを押します。
- 自分の電話番号が通知される条件と契約について
発信者番号通知サービスを利用すると、自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。ただし、電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

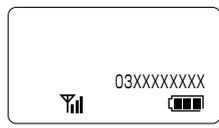
契約内容	自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
通常通知 （通話ごと）	相手の方の電話番号を押す	   +相手の方の電話番号を押す
通常非通知 （回線ごと 非通知）	   +相手の方の電話番号を押す	相手の方の電話番号を押す

内線発信には、「184」や「186」を付加できません。

電話番号を確認してかける (プリセットダイヤル)

1 待ち受け状態で、電話番号をダイヤルボタンで押す

電話番号が表示されます。



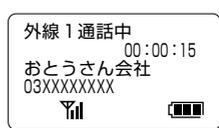
2 ボタンを押す

電話番号がダイヤルされます。



3 相手の方が出たら、お話しする

通話時間が表示されます。



4 お話が終わったら ボタンを押す、または充電器に置く

ワンポイント

- 通話時間の表示について
 - ・ 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。
 - ・ 通話時間は、最大「23：59：59」（23時間59分59秒）まで表示されます。24時間以上になった場合は、「23：59：59」のまま表示は変わりません。
 - ・ 保留にしたあとは、解除したときからカウントし直します。
- 相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（➡P1-12）
- 電話番号の入力を間違えたときは
 - (ク) ボタンを押すと、最後の桁から1桁ずつ消去されます。○(ク) ボタンを2秒以上押すと、待ち受け状態に戻ります。
- ハンドフリーで電話をかけるには
 - 手順2で ○(ク) ボタンを押します。ハンドフリー通話のときは、充電器に置いても電話は切れません。ハンドフリー通話を終了して電話を切るときは、○(ク) ボタンを押します。
- 自分の電話番号が通知される条件と契約について（➡P2-2）
- 着信中にプリセットダイヤルすると
 - 着信に回答しないで電話をかけることができます。

お知らせ

- プリセットダイヤルは、32桁までダイヤルできます。
- ダイヤル操作を途中でやめると、約10秒で待ち受け状態に戻ります。
- 手順1で外線番号を押した場合は、外線電話機を呼び出します。

電話をかけるには（外線発信）

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）

電話帳を使ってかける

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

A行の電話帳から読み仮名順に電話帳が表示されます。



行検索(7)
おかあさん携帯
おじいさん携帯
おとうさん会社
📶 | ◀ ▶ | 🔋

2 上下左右ボタンで電話帳を選択する

上下ボタン：1件ずつカーソルが移動する
左右ボタン：行単位にカーソルが移動する



行検索(7)
おかあさん携帯
おじいさん携帯
おとうさん会社
📶 | ◀ ▶ | 🔋

3 ボタンを押す

選択した電話番号がダイヤルされます。



外線1発信中
おとうさん会社
03XXXXXXXX
📶 | 🔋

4 相手の方が出たら、お話しする



外線1通話中
00:00:15
おとうさん会社
03XXXXXXXX
📶 | 🔋

5 お話が終わったら ボタンを押す、または充電器に置く

ワンポイント

● 電話帳に表示される順序

手順2で上下左右ボタンを押したとき表示される順序は、読み仮名順です。次の順序で表示されます。

- ①カタカナ（アイウエオ順）
- ②英字（abc順）
- ③数字（0123456789、「記号」順）

● 電話帳をすばやく検索するには

手順2で読み仮名の先頭文字に対応する次のボタンを押すと、すばやく各行に移動することができます。

- ①  ~ 、：A~W行
- ② ：英数字の行

たとえば、読み仮名が「ヒ」で始まる人をすばやく表示する場合は次のように操作します。

- ① 8行に対応する  を押す（Hで始まる名前の先頭にカーソルが移動）
- ② 続けて  を押す（ヒで始まる名前の先頭にカーソルが移動）
- ③ 下ボタンで目的の名前を選択する

● 電話帳を登録するには（▶P2-14）

お知らせ

- クイックモードが設定されている場合は、充電器から取り上げたあと  ボタンを押して待ち受け状態にしてから  ボタンを押す必要があります。

● 電話がかかってきたときは（外線着信） ●

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。

電話を受ける

電話がかかってくると…
着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。



外線2 着信中
(0312345678)
おとうさん会社
03XXXXXXXX
📶 🔋

1 待ち受け状態で ボタンを押 し、相手の方とお話する

通話時間が表示されます。



外線2 通話中 00:00:15
おとうさん会社
03XXXXXXXX
📶 🔋

2 お話が終わったら ボタン を押す、または充電器に置く

ワンポイント

- 充電器から外しているとき電話に出るには  ボタンを押して、相手の方とお話します。
- クイックモードの設定を変更するには (➡P3-11)
- 通話時間の表示について (➡P2-3)
- 着信音の音量を変えるには (➡P1-13)
- 相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量） (➡P1-12)
- 着信音を確認するには (➡P3-7)
- ハンドフリーでお話するには (➡P2-2)
- ナンバー・ディスプレイご利用時の表示について (➡P4-13)
- 同時に2つ以上の着信があるときは
決定ボタンを押すと着信の表示を切り替えることができます。充電器から取り上げるか、 ボタンを押すと表示中の着信に応答します。
- スライド着信のときの着信音は
設定にかかわらず「システムトーン1」で鳴ります。

お知らせ

- 通話中にお話してできる範囲から外れると、「ピー…ピー…ピー」という圏外警報音が鳴ります。UD-主装置に近づいてください。
- UD-コードレス電話機では、IPテレホンUDの代理応答機能および居留守応答機能はご利用になれません。

2 電話をかける／受ける

電話がかかってきたときは（外線着信）

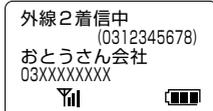
● 電話がかかってきたときは（外線着信）●

2 電話をかける／受ける

電話がかかってきたときは（外線着信）

通話中にかかってきた電話を受ける

外の相手の方との通話中に他の電話がかかってくると…
受話口から「プッ、プッ」という割込音が聞こえ、外線ランプが赤く点滅します。



1 通話中の相手の方とのお話を終え、点滅している外線ボタンを押す
先の方の通話は切れます。



2 あとからの相手の方とお話する



ワンポイント

- **割込音通知を設定するには**（➡P3-12）
割込音を鳴らすかどうかを設定することができます。
お買い求め時は、通話中に電話がかかってきたときに受話口から割込音が鳴るように設定されています。
- **同時に2つ以上の着信があると**
通話中、同時に2つ以上の着信があるときは、割込音の音色が変わります。
- **通話中のお話を切らないで電話に出るには**
手順1で外線ボタンを押す前に、**保留** ボタンを押すと先の通話を保留（➡P2-7）にして、あとの電話に出ることができます。
- **通話中の電話を切ってあとの電話を受けるには**
手順1の操作のかわりに **切替** ボタンを押して先の方の通話を切った場合は、**切替** ボタンを押してあとの相手の方とお話できます。

お知らせ

- **ハンズフリー通話中のとき、割込音は鳴りません。**

● 相手に待っていただく（保留） ●

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方には保留メロディが流れます。保留にしたあとは、他の内線電話機でも電話に出ることができます。

1 お話中に相手の方に待っていただくように伝える

お待ちください。



2 (保留) ボタンを押す

相手の方には保留メロディが流れ、保留にしている外線ランプが緑色で点滅します。



外線 1 保留しました
00:03:45
おとうさん会社
03XXXXXXXX
[Signal] [Battery]

ワンポイント

- 他の電話機で保留中の外線に応答するには他の内線電話機でも、保留中の外線ボタンを押すことにより、電話に出ることができます。
- 保留にしたままにしておく(長時間保留警報) 保留にしたまま5分経過すると、本商品のスピーカから保留警報音が鳴ります。保留警報音は約30秒間鳴り、その間に保留を解除しないと通話は切断されます。

お知らせ

- 内線通話は保留にできません。
- 保留警報音が鳴っているときにダイヤルボタンを押しても、ダイヤルされません。

3 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押す



外線 1 通話中
00:00:00
おとうさん会社
03XXXXXXXX
[Signal] [Battery]

4 相手の方とお話する

お待たせしました。



2 電話をかける／受ける

相手に待っていただく（保留）

●内線でお話するには（内線通話）●

他の内線電話機を呼び出して、お話しすることができます。

すべての内線電話機を呼出音で呼び出すこともできます（一斉呼出）。一斉呼出では、他の内線電話機で呼出音が一斉に鳴り、いずれかの内線電話機が応答すると、お話しできます。

呼び出す方

- 1 待ち受け状態で **内線** ボタンを押す
内線電話帳が内線番号の順に表示されます。



- 2 上下ボタンで呼び出す相手の方を選択する



- 3 **発信** ボタンを押す → 呼び出されると呼出音が鳴り、内線ランプが緑色で点滅します。



- 4 呼び出された方が応答したら、お話しする



- 1 **内線** ボタンを押し、相手の方とお話する



- 5 お話が終わったら **発信** ボタンを押す、または充電器に置く

ワンポイント 

- クイックモードの設定を変更するには（P3-11）
- 一斉呼出をするには
手順2で内線一斉呼出を選択します。

お知らせ 

- 内線電話帳に表示される名前は、UD-主装置で設定します。
- クイックモードが設定されているときに呼び出す場合は、充電器から取り上げたあと  ボタンを押して待ち受け状態にしてから  ボタンを押す必要があります。
- 本商品が表示できる文字は、第2水準漢字までです。第2水準漢字以外の文字は正常に表示できません。
- 内線発信には、「184」や「186」を付加できません。
- 内線発着信中にドアホンからの呼び出しがあった場合は、内線発着信は中止されます。

● 発信履歴／着信履歴を利用するには ●

かけた電話番号は、最新の20件まで保存されます（発信履歴）。ナンバー・ディスプレイ（P4-13）をご利用の場合は、電話をかけてきた相手の電話番号も同様に20件まで保存されます（着信履歴）。

これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。保存されている電話番号を電話帳に登録したり、かかってきた日時などを確認したりすることもできます。

2 電話をかける／受ける

発信履歴／着信履歴を利用するには

発信履歴／着信履歴から電話をかける

1 待ち受け状態で、発歴ボタンまたは着歴ボタンを押す

一番新しい発信履歴／着信履歴が表示されます。



発信履歴の例



2 上下ボタンでかける相手を選択する



3 ボタンを押す

表示された電話番号にダイヤルされます。



4 相手の方が出たら、お話しする



ワンポイント

- 相手の方の名前が電話帳に登録されている場合は登録されている名前が履歴に表示されます。
- 発信履歴／着信履歴に184や186を付加してかけるには、 ボタンを押し、上下ボタンで「発信者番号非通知」または「発信者番号通知」を選択し決定ボタンを押します。

お知らせ

- 内線通話の相手は、着信履歴には保存されません。
- クイックモードが設定されている場合は、充電器から取り上げたあと  ボタンを押して待ち受け状態にしてから発歴ボタンまたは着歴ボタンを押す必要があります。
- 発信履歴／着信履歴が20件を超えると、古いものから順に消去されます。

発信履歴／着信履歴から電話帳に登録する

1 待ち受け状態で、発歴ボタンまたは着歴ボタンを押す

一番新しい発信履歴／着信履歴が表示されます。



発信履歴の例



5 「電話帳に登録する」の手順2～10 (P2-14) の操作をする

2 上下ボタンで登録する相手を選択する



3 ボタンを押す



4 「電話帳新規登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す
名前の入力画面が表示されます。



● 発信履歴／着信履歴を利用するには ●

2

電話をかける／受ける

発信履歴／着信履歴を利用するには

発信履歴／着信履歴を1件削除する

1 待ち受け状態で、発歴ボタンまたは着歴ボタンを押す

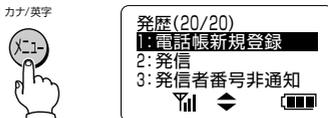
一番新しい発信履歴／着信履歴が表示されます。



2 上下ボタンで削除する相手を選択する



3 〻 ボタンを押す



4 上下ボタンで「1件削除」を選択する



5 決定ボタンを押し、「はい」が選択されていることを確認する

削除確認画面が表示されます。



6 決定ボタンを押す

「削除しました」と表示されたあと、待ち受け状態に戻ります。



発信履歴／着信履歴を全件削除する

1 待ち受け状態で、発歴ボタンまたは着歴ボタンを押す

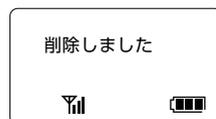
一番新しい発信履歴／着信履歴が表示されます。



発信履歴の例

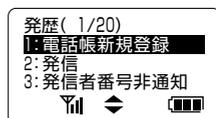
5 決定ボタンを押す

「削除しました」と表示されたあと、待ち受け状態に戻ります。

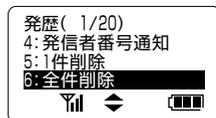


2 ボタンを押す

カナ/英字



3 上下ボタンで「全件削除」を選択する



4 決定ボタンを押し、「はい」が選択されていることを確認する

削除確認画面が表示されます。



電話帳を使うには

よくかける相手の方の名前と電話番号は、電話帳に登録しておくとう便利です。電話帳には、UD-コードレス電話機ごとに100件まで登録できます。

電話帳データごとに着信音を設定できるため、着信音を聞くだけで誰からかかってきたのか区別することができます。

2

電話をかける／受ける

電話帳を使うには

電話帳に登録する

1 待ち受け状態で、 ボタンを2秒以上押す

名前を入力画面が表示されます。



2 名前を入力する

名前は、全角10文字／半角20文字まで入力できます。



3 決定ボタンを押す

読み仮名入力画面が表示されます。読み仮名には、名前入力時の読みがそのまま表示されます。そのままよい場合は、手順5へ進みます。



4 読み仮名を入力する

読み仮名は、半角20文字まで入力できません。



5 決定ボタンを押す

電話番号入力画面が表示されます。



6 電話番号を入力する

電話番号は必ず全桁（市外局番を含む）登録してください。

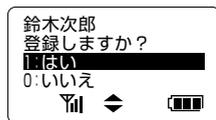
電話番号は32桁まで入力できます。



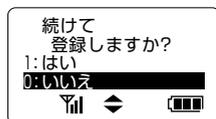
7 決定ボタンを押し、上下ボタンで着信音を選択する



8 決定ボタンを押し、「はい」が選択されていることを確認する



9 決定ボタンを押し、上下ボタンで「いいえ」を選択する



10 決定ボタンを押す



ワンポイント

- 文字を入力するには (➡P4-9)
- 続けて電話帳を登録するには
手順9で「はい」を選択すると、続けて電話帳を登録できます。

お知らせ

- 名前を漢字で入力すると、読み仮名には確定した名前がカタカナで自動表示されます。名前を英数字で入力すると、読み仮名も英数字で自動表示されます。
- 読み仮名は、入力中にクリアした文字も含めて表示されます。
- 電話帳には、内線番号や2桁以下の電話番号は登録できません。

2
電話をかける／受ける

電話帳を使うには

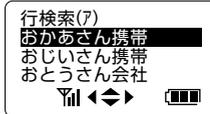
電話帳を使うには

2 電話をかける／受ける

電話帳を使うには

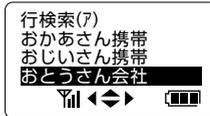
電話帳を修正する

- 1 待ち受け状態で、**☰** ボタンを押す
A行の電話帳から読み仮名順に電話帳が表示されます。

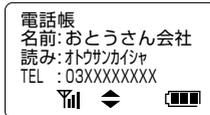


- 2 上下左右ボタンで修正する電話帳を選択する

上下ボタン：1件ずつカーソルが移動する
左右ボタン：行単位にカーソルが移動する



- 3 決定ボタンを押す



- 4 **☑** ボタンを押す

カナ/英字



- 5 上下ボタンで「編集」を選択し、決定ボタンを押す



- 6 「電話帳を登録する」の手順2～10 (☛P2-14) の操作をする

ワンポイント

- 電話帳をすばやく検索するには (☛P2-4)

2 電話をかける／受ける
電話帳を使うには

電話帳を削除する

1 待ち受け状態で、**Ⓜ** ボタンを押す
A行の電話帳から読み仮名順に電話帳が表示されます。

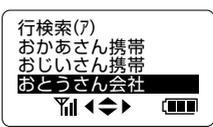


6 決定ボタンを押し、「はい」が選択されていることを確認する



2 上下左右ボタンで削除する電話帳を選択する

上下ボタン：1件ずつカーソルが移動する
左右ボタン：行単位にカーソルが移動する



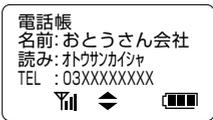
7 決定ボタンを押す



ワンポイント

- 電話帳をすばやく検索するには (➡P2-4)
- 電話帳をすべて削除するには (➡P4-14)

3 決定ボタンを押す



4 **Ⓜ** ボタンを押す

カナ/英字



5 上下ボタンで「削除」を選択する





第3章

より便利に使う

留守番電話を利用するには	3-2
ドアホン（別売）を利用するには	3-5
いろいろな機能を設定するには	3-7



留守番電話を利用するには

本商品からの操作で、UD-主装置の留守番電話を設定したり、録音された用件メッセージを聞いたりすることができます。

外出する前に（留守の設定）

- 1 待ち受け状態で、**留守** ボタンを押す
留守が設定されると、留守ランプが赤色で2回点滅を繰り返します。



3

より便利に
使う

留守番電話を利用するには

ワンポイント

- 相手の方に流れる応答メッセージの内容はUD-主装置の設定に従います。あらかじめ用意されている固定音声メッセージをご利用の場合は次のメッセージが流れます。
固定音声メッセージ
「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話ください。」
応答専用に変更した場合や、録音が満杯のときは次の応答専用メッセージが流れ、用件メッセージが録音できません。
応答専用メッセージ
「ただいま出かけております。またお電話ください。」
- 用件メッセージの録音時間や件数は？
UD-主装置の設定に従います。UD-主装置のお買い求め時の設定では、用件メッセージは1件につき約30秒まで録音でき、保存できる件数は60件までです。用件メッセージ、通話録音、録音応答メッセージの合計で45分まで録音が可能です。

お知らせ

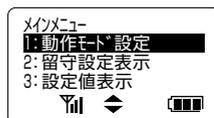
- 本商品からの操作で、着信番号を選択して留守を設定することはできません。

留守が設定されている着信番号を確認する

他の内線電話機の操作で着信番号ごとに留守番電話を設定／解除している場合は、留守ランプが緑色で2回点滅を繰り返します。本商品から留守が設定されている着信番号を確認することができます。

- 1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタンを押す

カナ/英字



- 2 上下ボタンで「留守設定表示」を選択し、決定ボタンを押す

留守が設定されている着信番号には「ON」、解除されている着信番号には「OFF」が表示されます。



- 3 確認したら、**メニュー** ボタンを2回押す
待ち受け状態に戻ります。

3 より便利に使う
留守番電話を利用するには

用件を聞く（留守の解除）

外出中に用件メッセージが録音されると…ディスプレイに「録音メッセージあり」が表示されます。



1 「録音メッセージあり」が表示されている状態で、**留守** ボタンを押す

録音件数が聞こえたあと、用件メッセージが再生されます。再生後に録音された日付と時刻が聞こえます。



2 用件メッセージを聞く

用件メッセージ再生中は、次のボタン操作ができます。

- 1 (前) (H) : 1つ前の用件メッセージに戻る
- 3 (次) (H) : 次の用件メッセージを再生する
- 8 (消) (H) : 用件メッセージをすべて消去する
- 0 (再) (H) : 再生中の用件メッセージを消去する
- 5 (終) (H) : 再生を終了する



3 最後のメッセージが再生されると「用件メッセージの再生は終了しました。」と聞こえる

再生終了後は、音声ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。

- 7 (再) (H) : 用件メッセージをもう一度再生する
- 8 (消) (H) : 用件メッセージをすべて消去する
- 4 (再) (H) : 操作を実行する
- 6 (再) (H) : 操作を中止する



4 終了するときには、**留守** ボタンを押す

留守が解除されます。

ワンポイント

- 留守を解除したあと、用件メッセージを聞き直すには
待ち受け状態で、留守 ボタンを約2秒以上押しします。

お知らせ

- 他の内線電話機で用件メッセージを再生しているときは、本商品で再生できません。
- 録音された用件メッセージに再生済みの用件と未再生の用件がある場合、再生済みの用件をもう一度聞くには、未再生の用件をすべて再生してから聞いてください。

留守番電話を利用するには

3 より便利に
使う

留守番電話を利用するには

用件をすべて消去する

1 待ち受け状態で、留守 ボタンを約2秒以上押す

用件メッセージが再生されます。



ワンポイント

- 再生していない用件メッセージがあるときはディスプレイに「録音メッセージあり」が表示されます。
- 再生中にメッセージを消去するには用件メッセージ再生中も(8) (#) を押してすべて消去できます。(P3-3)

お知らせ

- 用件を消去している間は、留守番電話の操作はできません。

2 再生終了後、音声ガイダンスに従い(8) (#) を押す



3 音声ガイダンスに従い、(4) (#) を押す

用件メッセージの消去が完了すると、「用件メッセージを消去しました」という音声ガイダンスが聞こえます。



4 留守 ボタンを押す

● ドアホン（別売）を利用するには ●

本商品からの操作で、UD-主装置に接続されたドアホンからの呼び出しに応答したり、ドアホンを呼び出ししたりすることができます。

UD-主装置には、音声ドアホンとカメラドアホンをそれぞれ2台まで接続でき、本商品からどちらも応答／呼び出しができます。ただし、本商品でカメラドアホンの映像を見ることはできません。

ドアホンからの呼び出しに応答する

ドアホンのチャイムが鳴ると…
内線ランプが赤色で点滅します。



1  ボタンを押し、相手の方とお話する



2 お話が終わったら  ボタンを押す、または充電器に置く

ワンポイント

- クイックモードの設定を変更するには (➡P3-11)
- 外線通話中にドアホン呼び出しに応答するには 外の相手の方との通話中にドアホンから呼び出されたときは、割込音が聞こえ内線ランプが点滅します。
 - ① 通話中の相手の方に待っていただくように伝え、**保留** ボタンを押す（通話は保留 (➡P2-7) になります。)
 - ② 点滅している **内線** ボタンを押す 外線通話を保留にしないで **内線** ボタンを押すと、外の相手の方との通話は切れます。
- 割込音通知を設定するには (➡P3-12)

お知らせ

- 約30秒間応答しないと、呼び出しは自動的に終了します。
- ドアホンからの呼び出しで表示される名前（玄関など）は、UD-主装置で設定します。
- 映像アダプタに接続したカメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カラーカメラドアホン-PⅢをご使用の場合、カラーカメラドアホンモニター-PⅢの映像は一定時間で消えることがあります。

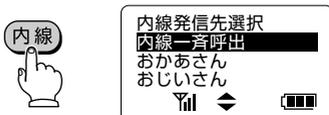
3 より便利に使う

ドアホン（別売）を利用するには

● ドアホン（別売）を利用するには ●

ドアホン呼び出す

1 待ち受け状態で **内線** ボタンを押す



2 上下ボタンでドアホンを選択する



3 **通話** ボタンを押す



4 お話する



5 お話が終わったら **通話終了** ボタンを押す、または充電器に置く

ワンポイント

● クイックモードの設定を変更するには
(P3-11)

● 内線番号で呼び出すには

待ち受け状態で、ドアホンの内線番号 (8画) (1画) ~ (8画) (4画) をダイヤルボタンで押し、**通話** ボタンを押すと呼び出すことができます。また、**通話終了** ボタンを押してから内線番号を押しても、呼び出すことができます。

3

より便利に
使う

ドアホン（別売）を利用するには

● いろいろな機能を設定するには ●

本商品のいろいろな機能を、メニューから選択して設定することができます。

メニューの表示内容一覧は「メニューボタンで設定できる機能の一覧」(P3-12)をご覧ください。

着信音を確認する

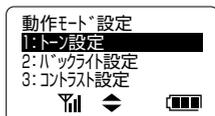
着信音を鳴らして確認することができます。着信音の設定は、『IPテレホンUD UD-主装置取扱説明書②総合編』を参照してください。

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

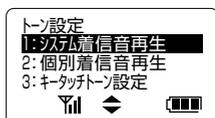
カガ/英字



2 「動作モード設定」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、上下ボタンで「トーン設定」を選択する



3 決定ボタンを押し、上下ボタンで「システム着信音再生」を選択する



4 決定ボタンを押し、上下ボタンで確認する着信音を選択する

UD-主装置で設定されている着信音の一覧が表示されます。



5 決定ボタンを押す

選択した着信音が設定されている音量で鳴ります。

上下ボタンで音量を調節することができます。再生を停止するには  ボタンを押します。



6 ボタンを5回押す

待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 電話帳ごとに設定できる着信音を確認するには手順3で「個別着信音再生」を選択して決定ボタンを押すと、電話帳ごとに設定できる着信音の一覧が表示され、確認することができます。

3 より便利に使う

いろいろな機能を設定するには

• いろいろな機能を設定するには •

キータッチトーンを設定する

ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定できます。お買い求め時は、「あり」に設定されています。

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

カナ/英字



2 「動作モード設定」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、上下ボタンで「トーン設定」を選択する



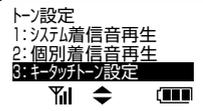
3 決定ボタンを押し、上下ボタンで「キータッチトーン設定」を選択する



4 決定ボタンを押し、上下ボタンで「あり」または「なし」を選択する



5 決定ボタンを押す



6 ボタンを3回押す

キータッチトーンが設定され、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- キータッチトーンを「あり」に設定しても、発信中や通話中およびスピーカから音が鳴っているときは、キータッチトーンは鳴りません。

3 より便利に使う

いろいろな機能を設定するには

ディスプレイのバックライトを設定する

液晶ディスプレイのバックライトの点灯／消灯を設定できます。お買い求め時は、「オン」に設定されています。

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

カナ/英字



2 「動作モード設定」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、上下ボタンで「バックライト設定」を選択する



3 決定ボタンを押し、上下ボタンで「オン」または「オフ」を選択する



4 決定ボタンを押す



5 ボタンを2回押す

バックライトが設定され、待ち受け状態に戻ります。



3 より便利に使う

いろいろな機能を設定するには

● いろいろな機能を設定するには ●

ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイのコントラストを8段階で調節できます。

1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタンを押す

カナ/英字



2 「動作モード設定」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、上下ボタンで「コントラスト設定」を選択する



3 決定ボタンを押し、左右ボタンでコントラストを調整する



4 決定ボタンを押す



5 **クリア** ボタンを2回押す

コントラストが設定され、待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- 手順4で決定ボタンを押さずに、**クリア** ボタンや **電源** ボタンでコントラスト設定を終了した場合でも、調整した値が設定されます。

3 より便利に
使う

いろいろな機能を設定するには

クイックモードを設定する

クイックモードを「オン」に設定すると、電話をかけるとき、受けるときは操作が次のようになります。

- ・電話がかかってきたとき、充電器から取り上げるだけでお話しができます。
- ・待ち受け中に充電器から取り上げるだけで「ツー」という発信音が聞こえ、電話をかけられます。

お買い求め時は、「オフ」に設定されています。

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す

カナ/英字



2 「動作モード設定」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、上下ボタンで「クイックモード設定」を選択する



3 決定ボタンを押し、上下ボタンで「オン」または「オフ」を選択する



4 決定ボタンを押す



5 ボタンを2回押す

クイックモードが設定され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- クイックモードが「オフ」のときは
電話をかけるときや受けるときに、充電器から取り上げたあとで  ボタンを押す必要があります。

3 より便利に使う

いろいろな機能を設定するには

● いろいろな機能を設定するには ●

メニューボタンで設定できる機能の一覧

☺ ボタンを押して上下ボタンでメニュー項目を選択すると、以下の機能を設定したり、設定内容を確認したりできます。なお、☹ ボタンを押したあと、ダイヤルボタンで表中のメニュー番号を入力しても各設定画面を呼び出すことができます。

メニュー項目		メニュー番号	設定内容	初期値	参 照	
動作モード設定	システム着信音再生	111	UD-主装置で設定されている着信音を確認します。	—	☛P3-7	
	個別着信音再生	112	UD-主装置で設定されている電話帳ごとの着信音を確認します。	—	☛P3-7	
	キータッチトーン設定	113	ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定します。	あり	☛P3-8	
	割込音通知	114	通話中に電話がかかってきたとき、受話口から割込音を鳴らすかどうかを設定します。	使用する	☛P2-6	
	バックライト設定	12	液晶ディスプレイのバックライトの点灯/消灯を設定します。	オン	☛P3-9	
	コントラスト設定	13	液晶ディスプレイのコントラストを8段階で調節します。	4	☛P3-10	
	クイックモード設定	14	充電器から取り上げただけで電話をかけたり受けたりできるように設定します。	オフ	☛P3-11	
	留守設定表示	2	留守が設定されている着信番号を確認します。	—	☛P3-2	
設定値表示	MACアドレス表示	31	本商品に設定されているMACアドレスを確認します。	—	—	
	バージョン表示	32	ソフトウェアのバージョンを確認します。	—	—	
保守設定	自動登録	41	UD-主装置との接続を登録し、使用できるようにします。	いいえ	☛P1-10	
	リピータ使用	42	無線リピータを使用するかどうかを設定します。	使用しない	☛P1-3	
	ダウンロード	43	自動的にバージョンアップするかどうかを設定します。	しない	☛P1-11	
	データ初期化	電話帳	401	電話帳データをすべて削除します。	いいえ	☛P4-14
		全データ	402	設定をお買い求め時の状態に戻し、電話帳データをすべて削除します。	いいえ	☛P4-14
	再起動	4#	本商品を再起動します。	しない	☛P1-3	

3

より便利に
使う

いろいろな機能を設定するには



第4章

ご参考に

設定情報／電話帳をバックアップするには	4-2
文字入力のしかた	4-9
ナンバー・ディスプレイを利用するには	4-13
本商品をお買い求め時の状態に戻すには	4-14
付属品・オプション品をご利用になるには	4-15
こんな音がしたら	4-16
故障かな?と思ったら	4-17
索引	4-20
仕様	4-29
保守サービスのご案内	4-30



● 設定情報／電話帳をバックアップするには ●

付属のUSBケーブルでUD-コードレス電話機とパソコンを接続し、バックアップソフトを利用すると電話帳や設定データをパソコンに保存したり、パソコンから復元したりできます。また、パソコンでダウンロードした最新ソフトウェアから本商品をバージョンアップすることもできます。

バックアップソフトをインストールする

本商品に付属しているCD-ROMからバックアップソフトをインストールします。

1 パソコンの電源を入れ、管理者でログインする

2 CD-ROMをセットする

バックアップソフトのインストーラが起動します。



Windows XPの場合

3 画面の指示に従って、バックアップソフトをインストールする

ワンポイント

- バックアップソフトをアンインストールするには
コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を利用してアンインストールすることができます。

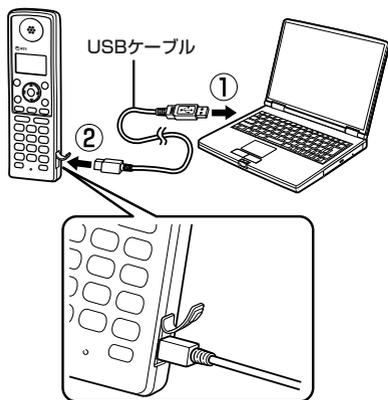
お知らせ

- バックアップソフトは以下のOSで使用することができます。(本書の操作説明および画面例には、Windows XPサービスパック2を使用しています)
Windows XP Professional (SP2以降)
Windows XP Home (SP2以降)
Windows 2000
Windows Vista Home Basic (32ビット版)
Windows Vista Home Premium (32ビット版)
Windows Vista Business (32ビット版)
Windows Vista Ultimate (32ビット版)
- ご使用になっているパソコンのOSによっては、バックアップソフトが起動していてもタスクバーにアイコンが表示されないことがあります。その場合は、バックアップソフトを再起動してください。
- バックアップソフトをご利用になれるのは、待ち受け中のみです。それ以外のときは利用できません。
- バックアップソフトの使用中は、着信に 응답できません。電話がかかってきたときは、バックアップソフトを終了させてから応答してください。
- Windows Vistaをご利用で、バックアップソフトのインストール時や起動時にユーザアカウント制御の画面が表示されたときは、操作を許可して続行してください。
- パソコンにインストールされている他のアプリケーションとの組み合わせによっては、バックアップソフトをご利用になれない場合もあります。

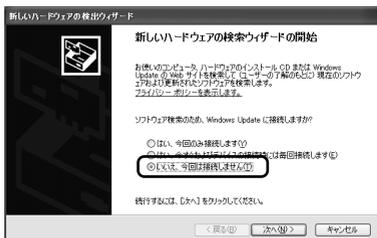
USBドライバをインストールする

バックアップソフトをインストールすると、本商品をパソコンに接続するために必要なUSBドライバがバックアップソフトのインストール先（初期値ではC:\Program Files\NTT\UD_WP）に保存されます。UD-コードレス電話機をパソコンに接続し、USBドライバの保存場所を指定してUSBドライバをインストールします。

1 UD-コードレス電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

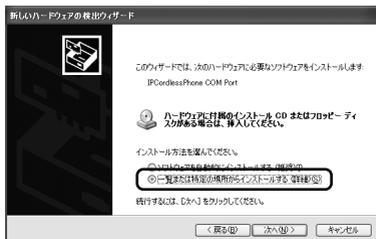


2 新しいハードウェアが検出されウィザードが起動したら、[いいえ、今回は接続しません] をクリックする



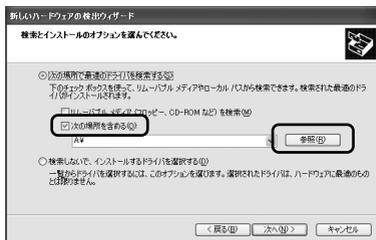
3 [次へ] をクリックする

4 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をクリックする



5 [次へ] をクリックする

6 [次の場所を含める] をクリックし、[参照] をクリックする



4
ご参考に

設定情報 / 電話帳をバックアップするには

次ページにつづく ▶

● 設定情報／電話帳をバックアップするには ●

- 7 [マイコンピュータ] → Cドライブ
→ [Program Files] → [NTT]
→ [UD_WP] の順にクリックし、
[OK] をクリックする

バックアップソフトのインストール先を初期値から変更した場合は、そのフォルダを指定してください。



- 8 参照先に「C:\¥Program Files¥
NTT¥UD_WP」が指定されている
ことを確認し、[次へ] をクリック
する

- 9 [続行] をクリックする

USBドライバがインストールされます。



- 10 [完了] をクリックする



- 11 スタートメニューからバックアップ
ソフトを起動する

バックアップソフトのメニュー画面が表示
されます。

- 12 メニュー画面で [UD-コードレス電
話機設定] をクリックする

- 13 接続ポートを選択し、[更新] をク
リックする



- 14 メニュー画面で [終了] をクリック
する

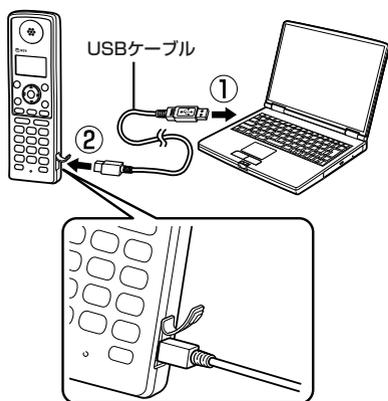
UD-コードレス電話機とパソコンを付属品
のUSBケーブルで接続し、コントロール
パネルのデバイスマネージャを起動する
と、ポート (COMとLPT) の [IP-Cordless
Phone COM Port] で設定された接続
ポートを確認できます。

(Windows XPの場合は、[コントロール
パネル] → [システム] → [ハードウェア]
→ [デバイスマネージャ] → [ポート
(COMとLPT)] の順に選択します。)

バックアップデータを保存する

UD-コードレス電話機からパソコンに電話帳や設定内容のバックアップデータを保存します。

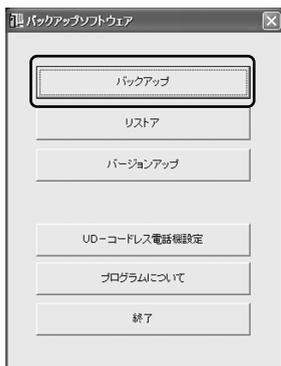
1 UD-コードレス電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する



2 スタートメニューからバックアップソフトを起動する

バックアップソフトのメニュー画面が表示されます。

3 [バックアップ] をクリックする



4 [バックアップデータ選択] で保存するデータを選択し、[フォルダ参照] をクリックしてバックアップデータの保存先を選択する



5 [実行] をクリックする

バックアップデータがパソコンに保存されます。



6 保存が終了したら、[OK] をクリックする



4
ご参考に

設定情報 / 電話帳をバックアップするには

次ページにつづく ▶

● 設定情報／電話帳をバックアップするには ●

ワンポイント

● バックアップデータの保存先は

初期状態のバックアップデータ保存先は、マイドキュメントの [UD_WP] フォルダです。

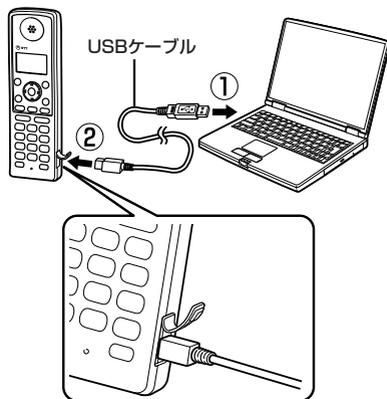
お知らせ

- UD-コードレス電話機を充電器から取り上げてパソコンに接続すると、電池ピクト (P1-7) は3点灯 (電池残量多) の表示になります。
- パソコンに保存されるデータは暗号化されるため、パソコンで内容を見ることはできません。
- 電話帳と設定情報の保存先は、同じフォルダを指定してください。
- バックアップ中にUSBケーブルを抜いたり、電池パックを外したりしないでください。故障の原因となることがあります。

電話帳や設定を復元する

パソコンに保存されているバックアップデータから電話帳や設定内容を復元します。

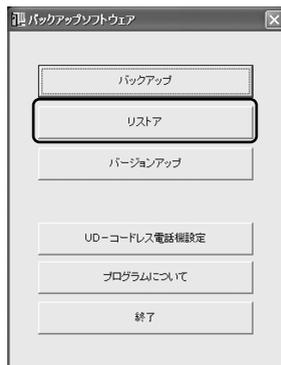
1 UD-コードレス電話機とパソコンを付属品のUSBケーブルで接続する



2 スタートメニューからバックアップソフトを起動する

バックアップソフトのメニュー画面が表示されます。

3 [リストア] をクリックする



- 4** [リストアデータ選択] でリストアするデータを選択し、[フォルダ参照] をクリックしてバックアップデータの保存先を選択する



- 5** [実行] をクリックする
バックアップデータから電話帳や設定が復元されます。



- 6** 復元が終了したら、[OK] をクリックする



お知らせ ㊦

- リストア中にUSBケーブルを抜いたり、電池パックを外したりしないでください。故障の原因となることがあります。

バージョンアップする

当社のホームページからダウンロードした最新ソフトウェアを利用し、本商品をバージョンアップします。

- 1** 最新ソフトウェアをダウンロードし、保存する

当社ホームページ

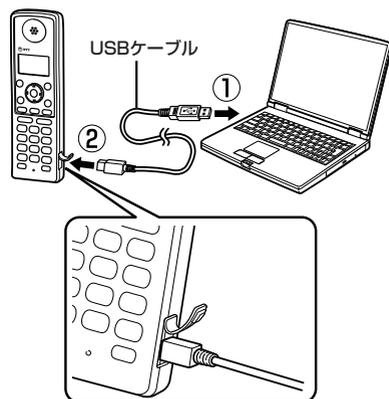
NTT東日本：

<http://web116.jp/ced/>

NTT西日本：

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

- 2** UD-コードレス電話機とパソコンを付属品のUSBケーブルで接続する



- 3** スタートメニューからバックアップソフトを起動する

バックアップソフトのメニュー画面が表示されます。

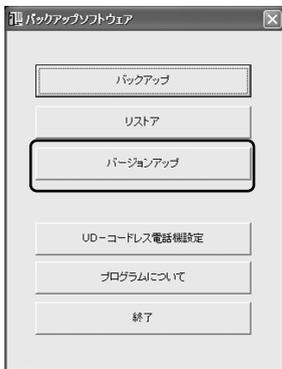
4
ご参考に

設定情報 / 電話帳をバックアップするには

次ページにつづく ▶

● 設定情報／電話帳をバックアップするには ●

4 [バージョンアップ] をクリックする



7 バージョンアップが終了したら、[OK] をクリックする

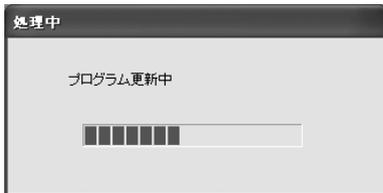


5 [ファイル参照] をクリックして保存した最新ソフトウェアを選択する



6 [実行] をクリックする

本商品のソフトウェアがアップデートされます。



8 UD-コードレス電話機を再起動する

お知らせ ㊦

- バージョンアップを行ったあとの再起動には、3～5分程度かかります。
- バックアップソフトをご利用の際にエラーコードが表示された場合は、「エラーコード一覧」(P4-19) で内容をご確認ください。
- プログラム更新中にUSBケーブルを抜いたり、電池パックを外したりしないでください。故障の原因となることがあります。

4
ご参考に

設定情報／電話帳をバックアップするには

文字入力のしかた

文字入力では、入力モードを切り替えることにより、漢字、ひらがな、カタカナ、英字（全角大文字／半角大文字／全角小文字／半角小文字）、数字（全角／半角）を入力できます。

漢字やひらがなを入力する

例：「米澤」と入力する場合

1 ㊦ ボタンを押して漢字モードにする

カガ/英字



電話帳の名前入力画面

2 文字が割り当てられているボタンを押す

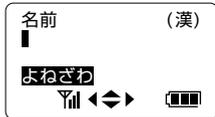
ボタンを押して間違えた場合は、㊦ ボタンを押して文字を消去し、入力直します。

「よ」：㊦を3回

「ね」：㊦を4回

「ざ」：㊦を1回、㊦を1回

「わ」：㊦を1回



3 下ボタンを押す

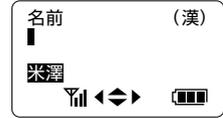
ひらがなが漢字に変換されます。

左右ボタンを押すと、変換対象（文節の長さ）を変えることができます。



漢字候補が表示される

4 上下ボタンを押して変換候補を表示する



5 決定ボタンを押す

決定した文字が上段に移動します。



ワンポイント

- 入力したい文字に変換されないときは
手順3で左右ボタンを押し、変換対象を1文字分に変更して変換してください。
また、濁点や半濁点を外したり、読みかた（首読み／訓読み）を変えたりして変換してください。
- 続けて同じボタンの文字を入力するには
右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

4
ご参考に

文字入力のしかた

文字入力のかた

カタカナを入力する

例：「クラブ」と入力する場合

1 ㊦ ボタンを押してカナモードにする

カナ/英字



電話帳の読み仮名入力画面

2 文字が割り当てられているボタンを押す

ボタンを押し間違えた場合は、㊦ ボタンを押して文字を消去し、入力し直します。

「ク」：㊦ を3回

「ラ」：㊦ を1回

「ブ」：㊦ を3回、㊦ を1回



ワンポイント

- 続けて同じボタンの文字を入力するには 右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

英字を入力する

例：「Paul」と入力する場合

1 ㊦ ボタンを押して英字(半角大文字)モードにする

カナ/英字



電話帳の名前入力画面

2 文字が割り当てられているボタンを押す

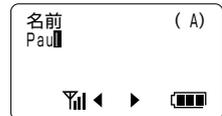
ボタンを押し間違えた場合は、㊦ ボタンを押して文字を消去し、入力し直します。

「P」：㊦ を1回

「a」：㊦ を4回

「u」：㊦ を5回

「l」：㊦ を6回



ワンポイント

- 続けて同じボタンの文字を入力するには 右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

数字を入力する

例：「0120」と入力する場合

1 ㊦ ボタンを押して数字（半角）モードにする

カナ/英字



電話帳の名前入力画面

2 文字が割り当てられているボタンを押す

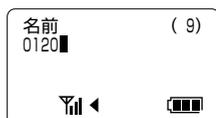
ボタンを押し間違えた場合は、㊦ ボタンを押して文字を消去し、入力し直します。

「0」：0 を1回

「1」：1 を1回

「2」：2 を1回

「0」：0 を1回



ワンポイント

- 続けて同じボタンの文字を入力するには
そのまま同じボタンを押して入力します。
- 入力モードを切り替えるには
㊦ ボタンを押すたびに、漢字／ひらがな→カタカナ→英字（全角大文字）→英字（半角大文字）→英字（全角小文字）→英字（半角小文字）→数字（全角）→数字（半角）→漢字／ひらがな…の順番で切り替わります。

文字入力のしかた

ボタンと文字の割り当て一覧表

ボタン	漢字モード	カタカナモード	英字モード	数字モード
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	無効	1 (全角) 1 (半角)
②	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc (全角) ABCabc (半角)	2 (全角) 2 (半角)
③	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef (全角) DEFdef (半角)	3 (全角) 3 (半角)
④	たちつてとっ	タチツテトツ	GHIghi (全角) GHIghi (半角)	4 (全角) 4 (半角)
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl (全角) JKLjkl (半角)	5 (全角) 5 (半角)
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno (全角) MNOmno (半角)	6 (全角) 6 (半角)
⑦	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs (全角) PQRSpqrs (半角)	7 (全角) 7 (半角)
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv (全角) TUVtuv (半角)	8 (全角) 8 (半角)
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz (全角) WXYZwxyz (半角)	9 (全角) 9 (半角)
⑩	わをん ー、。！？ @_ () * # 空白	ワヲン ー @_ () * # 空白	ー、。！？@_ () * #空白 (全角) -@_()*#空白 (半角)	0 (全角) 0 (半角)
✕	・	・	無効	無効
Ⓜ	無効	無効	無効	無効
左 ボタン	カーソルを左に移動			
右 ボタン	カーソルを右に移動			
Ⓚ	1文字消去			

4 ご参考に

文字入力のしかた

● ナンバー・ディスプレイを利用するには ●

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけてきた相手の電話番号がディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するには、あらかじめ当社とご契約（有料）の上、ナンバー・ディスプレイ契約の設定をする必要があります。

ナンバー・ディスプレイについて詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

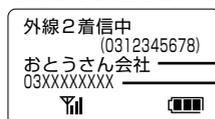
ナンバー・ディスプレイをご契約になると、以下の便利な機能がご利用になれます。

●電話をかけてきた電話番号の名前を出る前に確認

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話をかけてきた相手の情報がディスプレイに表示されるので、相手を確認してから電話に出ることができます。



電話番号が通知されてきた場合は…



相手の電話番号が電話帳と照合され、相手の方の電話番号や電話帳に登録されている名前が表示されます。

電話帳に登録されている名前

相手の方の電話番号

電話番号が通知されてこなかった場合は…

ナンバー・ディスプレイを利用しているときでも、相手から電話番号が通知されてこなかったときは、ディスプレイにその理由が表示されます。

状態	ディスプレイの表示	理由
非通知	外線2着信中 (0312345678) 非通知 Yll [信号強度]	相手が電話番号を通知しない契約や設定で電話をかけてきたときは、「非通知」と表示されます。
公衆電話	外線2着信中 (0312345678) 公衆電話 Yll [信号強度]	相手が公衆電話から電話をかけてきたときは、「公衆電話」と表示されます。
ナンバー・ディスプレイ表示圏外	外線2着信中 (0312345678) 表示圏外 Yll [信号強度]	相手がナンバー・ディスプレイのサービスが利用できない地域や電話機からかけてきたときは、「表示圏外」と表示されます。

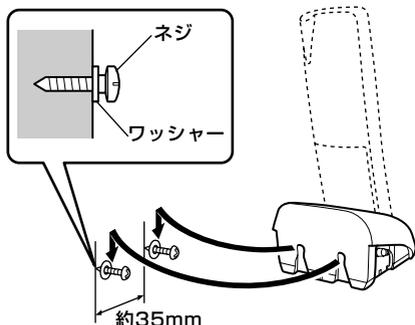
●かけてきた相手の電話番号を利用（着信履歴）

電話をかけてきた相手の電話番号は最新の20件まで保存され、この電話番号を使って電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。（●P2-10）

● 付属品・オプション品をご利用になるには ●

■ 充電器を壁に掛けるには

付属品の木ネジとワッシャーを使用します。木ネジを壁面から少し間を残して先に取り付け、充電器を木ネジに引っ掛けて、しっかりと固定します。



お願い

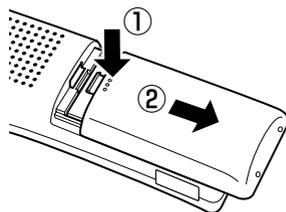
- 充電器を壁に掛ける場合は、専用の木ネジとワッシャーを使用してしっかりと固定してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。
- 石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など強度の弱い壁には取り付けないでください。（落下して、けが・破損の原因になることがあります）。

■ 電池パックを交換するには

電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、おおむね2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、新しい電池パックに交換してください。

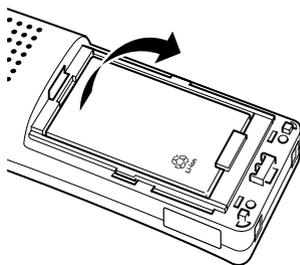
① 電池パックのカバーを取り外す

つまみを押して外し、カバーをスライドさせます。



② 電池パック上部のくぼみを持ち上げて取り外す

電池パックが外れにくいときは、マイナスドライバーなど、先の平らなものを差し込んで外します。



③ 新しい電池パックを取り付ける

(☛ 『最初にお読みください』)

4
ご参考に

付属品・オプション品をご利用になるには

こんな音がしたら

UD-コードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口またはスピーカから聞こえる音

音	本商品の状態	音の意味
ツー… (発信音)	充電器から取り上げたとき  ボタンや外線ボタンを押したとき	電話をかけられます。
プッ、プッ… (割込音)	通話中に他の電話がかかってきたとき	電話がかかってきています。
ツー…ツー… (外線に空きがないとき)	電話をかけた相手の方や他の内線電話機がお話中するとき	お話し中です。
	UD-主装置の空きチャンネルがないとき	他の電話機がUD-主装置のすべての外線を使っています。
ピー…ピー…ピー (圏外警報音)	通話中にお話できる範囲から外れたとき	UD-主装置に近づいてください。
ピー (電池残量警報音)	電池残量が規定値以下になったとき	充電器に置いて充電してください。
ピピピピ…ピピピピ… (内線着信音)	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています。
ピピピピピピピピ… (外線着信音)	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています。
ピッ (キータッチトーン)	ダイヤルボタンを押したとき	ダイヤルボタンが押されました。
ピンポーン	ドアホンから呼び出されているとき	ドアホンから呼び出されています。
ピッピッピッ… (保留警報音)	一定時間を超えて保留を続けたとき	保留を解除してください。

4

ご参考に

こんな音がしたら

お知らせ ㊦

- 圏外警報音が鳴った場合は、電話を切ったり、保留にしたりなどの操作ができないことがあります。
- 電池残量警報音が鳴った場合は、メニュー操作、発信操作、応答操作はできません。
- 圏外警報音は圏外になったとき、一度だけ鳴ります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
起動しない	電池切れになっている	充電してください。	●『最初にお読みください』
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください。	●『最初にお読みください』
電話がかかけられない	UD-主装置から離れすぎている	UD-主装置に近づいてください。	●P6
	回線がいつぱいになっている	少し待ってからかけ直してください。	—
	UD-主装置やUD-主装置に接続されたひかり電話対応機器の電源が切れている、または障害がある	UD-主装置やUD-主装置に接続されたひかり電話対応機器が正常に動作しているか確認してください。	—
	停電のため	故障ではありません。	—
着信音が鳴らない	電池残量が少なくなっている	充電してください。	●『最初にお読みください』
	UD-主装置から離れすぎている	UD-主装置に近づいてください。	●P6
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください。	●P6
	着信音量が「ミュート」に設定されている	着信音量を「ミュート」以外に設定してください。	●P1-13
通話が突然切れる	電波が届かないため	電波の届く場所に移動してかけ直してください。	●P6
	電池残量が少なくなっている	充電してください。	●『最初にお読みください』
	UD-主装置やUD-主装置に接続されたひかり電話対応機器が再起動した	UD-主装置やUD-主装置に接続されたひかり電話対応機器が起動するまでお待ちください。	—
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	UD-主装置から離れすぎている	UD-主装置に近づいてください。	●P6
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話しください。	●P1-7
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください。	●P6
	UD-主装置との間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください。	●P6
	無線の伝送速度が十分でない	UD-主装置の設定を確認してください。	—
お話し中の相手に自分の声が途切れて聞こえる	UD-コードレス電話機から送信される電波の強さが、受信する電波より弱いため	お話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話しください。	●P1-7
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください。	●P1-12
	受話口に耳がきちんとあたっていない	耳をきちんと受話口に当ててください。	—

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定している	受話音量を下げてみてください。	●P1-12
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください。	—
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください。	●P1-13
着信音が大きい	着信音量を大きく設定している	着信音量を下げてみてください。	●P1-13
充電器に置いてても「充電」表示が出ない	充電器の電源アダプタがコンセントから外れている、または電源アダプタコードが充電器から外れている	電源アダプタをきちんとコンセントへ差し込んでください。	●「最初にお読みください」
	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください。	●「最初にお読みください」
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください。	●「最初にお読みください」
	電源アダプタコードが傷んでいる	電源アダプタをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください。	—
	電池パックが寿命のため	電池パックを交換してください。	●「最初にお読みください」
	周囲の温度が5℃以下や35℃以上の環境で使用している	充電は周囲の温度が5～35℃の間で行ってください。	—
5時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください。	●「最初にお読みください」
	電池パックが寿命のため	電池パックを交換してください。	●「最初にお読みください」
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません。	—
UD-主装置で設定した内線端末情報が内線電話帳に反映されない	UD-主装置から内線端末情報を取得していない	最新の情報が反映されるまで最大5分必要です。すぐに反映したい場合は本商品を再起動してください。	—
ディスプレイのバックライトが点灯しない	バックライト設定が「オフ」になっている	バックライト設定を「オン」にしてください。	●P3-9
画面が薄い（濃い）	ディスプレイのコントラストが適切に設定されていない	コントラストを調節してください。	●P3-10
ディスプレイに「充電エラー」と表示される	周囲温度が5℃以下や35℃以上の環境で使用している	周囲温度が5～35℃の間で使用してください。	—
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください。	●「最初にお読みください」
	電池パックが寿命のため	電池パックを交換してください。	●「最初にお読みください」

●バックアップソフトで保存／復元できない

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
「設定画面の起動に失敗しました。」と表示され、メニュー画面から各機能が起動できない	パソコンと通信できていない	UD-コードレス電話機設定画面でシリアル通信ポート設定を確認してください。	●P4-4
	UD-コードレス電話機が使用中のため	UD-コードレス電話機が待ち受け状態のときに操作してください。	—

●バックアップソフトのエラーコード一覧

エラーコード	エラー内容	対処内容
1	バックアップソフトの動作不良	●UD-コードレス電話機との接続でエラーが発生しています。バックアップソフトを再起動してください。
2	UD-コードレス電話機のエラー	●UD-コードレス電話機が使用中です。UD-コードレス電話機を待ち受け状態にしてください。 ●UD-コードレス電話機が自動バージョンアップを行っている場合、接続できません。しばらくしてから、バックアップソフトを実行してください。
0xff00	UD-コードレス電話機未接続エラー	●UD-コードレス電話機との接続に失敗しています。バックアップソフトを再起動してください。
0xff01	バックアップソフトが他の処理を実行中	●二重起動しているおそれがあります。パソコンを再起動してください。
0xff02	レスポンスタイムアウト	●UD-コードレス電話機が応答しません。接続を確認のうえ、バックアップソフトとUD-コードレス電話機を再起動してください。
0xff03	送信エラー	●データの送信に失敗しました。接続を確認のうえ、バックアップソフトとUD-コードレス電話機を再起動してください。
0xff04	UD-コードレス電話機通信エラー	●UD-コードレス電話機が応答しません。接続を確認のうえ、バックアップソフトとUD-コードレス電話機を再起動してください。
0xff05	処理中止	●処理中にバックアップソフトが終了されました。継続して使用する場合は、再起動してから使用してください。
0xff08	ZMODEM通信エラー	●ファイルの送受信に失敗しました。ファイルが壊れているか、USB通信の動作が不安定になっています。指定したソフトウェアファイルなどを確認してください。 また、ファイルを指定していない場合は、バックアップソフトとUD-コードレス電話機を再起動後再度実行してください。
0xff09	ケーブル切断中	●USBケーブルが外れている可能性があります。接続を確認してください。 ●USBケーブルが断線している可能性があります。新しいケーブルに変更してください。
0xff0a	ポートオープン・初期化失敗	●UD-コードレス電話機と接続されていません。接続を確認してください。 また、他の装置でCOMポートを使用していないかご確認ください。

索引

数字・アルファベット

CD-ROM	1-4
MACアドレス表示.....	3-12
NTT通信機器お取扱相談センタシール.....	1-4
UD-コードレス電話機	
UD-コードレス電話機の動作について.....	1-3
UD-コードレス電話機を設定する	
.....	1-10、『最初にお読みください』
USBケーブル.....	1-4
USB差込口.....	1-5
USBドライバ.....	4-3

五十音順

【ア行】

相手に待っていただく.....	2-7
アンテナ.....	1-5
アンテナピクト.....	1-7
一斉呼出.....	2-8
インストール	
USBドライバ.....	4-3
バックアップソフト.....	4-2
上ボタン（上下左右ボタン）.....	1-5
液晶ディスプレイ.....	1-5、1-7
液晶バックライト.....	1-6
バックライトを設定する.....	3-9
エラーコード一覧.....	4-19
応答専用メッセージ.....	3-2
応答メッセージ.....	3-2
お取り扱いについて.....	7
オプション.....	4-15
音量	
受話音量を調節する.....	1-12
スピーカ受話音量を調節する.....	1-12
着信音量を調節する.....	1-13

【カ行】

外線着信.....	2-5
外線発信.....	2-2
外線ボタン.....	1-5
外線ランプ.....	1-6
壁掛用木ネジ・ワッシャー.....	1-4
キータッチトーン.....	3-8
切ボタン.....	1-5
クイックモード.....	3-11
クリアボタン.....	1-5
決定ボタン.....	1-5
圏外.....	1-7
圏外ピクト.....	1-7
故障かな？と思ったら.....	4-17
固定音声メッセージ.....	3-2
個別着信音.....	3-7
コントラスト設定.....	3-10
こんな音がしたら.....	4-16

【サ行】

再起動.....	1-3
下ボタン（上下左右ボタン）.....	1-5
自動登録.....	1-10、『最初にお読みください』
自動バージョンアップ.....	1-11
充電	
充電する.....	『最初にお読みください』
充電器.....	1-4
壁に掛ける.....	4-15
受話音量.....	1-12
受話口.....	1-5
仕様.....	4-29
上下左右ピクト.....	1-7
上下左右ボタン.....	1-5
スピーカ口.....	1-5
スピーカ受話音量.....	1-12
スピーカピクト.....	1-7
設置場所について.....	5
設定できる機能の一覧.....	3-12
送話口.....	1-5

【タ行】

ダイヤルボタン.....	1-5
ダイヤルライト.....	1-6
ダウンロード機能.....	1-11

着信音

着信音を確認する.....	3-7
着信音を設定する.....	2-14

着信音量.....1-13**着信履歴.....2-10**

着信履歴を1件削除する.....	2-12
着信履歴を全件削除する.....	2-13

着歴ボタン.....1-5**長時間保留警報.....2-7****通話時間の表示.....2-3****通話ボタン.....1-5****ディスプレイ**

コントラストを調整する.....	3-10
バックライトを設定する.....	3-9

データ初期化.....4-14**電源アダプタ.....1-4、【最初にお読みください】****電池**

電池残量.....	1-7
電池の使用可能時間.....	1-8

電池カバー.....1-4、4-15、**【最初にお読みください】****電池残量警報音.....1-9、4-16****電池バック.....1-4、4-15、****【最初にお読みください】**

電池バックを入れる...【最初にお読みください】

電池バックを交換する.....4-15

電池ピクト.....1-7**電波**

電波の状態確認.....1-8

電波の強さ.....1-7

電波干渉について.....12**電話がかかってきたとき.....2-5**

通話中にかかってきた電話を受ける.....2-6

電話帳

電話帳データを初期化する.....4-14

電話帳を削除する.....2-17

電話帳を修正する.....2-16

電話帳を登録する.....2-14

バックアップデータを保存する.....4-5

発信履歴／着信履歴から登録する.....2-11

電話帳ボタン.....1-5**電話をかける**

電話帳を使ってかける.....2-4

電話番号を押してかける.....2-2

電話番号を確認してかける.....2-3

発信履歴／着信履歴からかける.....2-10

ドアホン

通話中にドアホンからの呼び出しに応答する.....3-5

ドアホンからの呼び出しに応答する.....3-5

ドアホンを呼び出す.....3-6

特長.....1-2**【ナ行】****内線通話.....2-8****内線でお話する.....2-8****内線ボタン.....1-5****内線ランプ.....1-6****ナンバー・ディスプレイ.....4-13****【ハ行】****バージョンアップ**

自動的にバージョンアップする.....1-11

バックアップソフトでバージョンアップする.....4-7

バージョン表示.....3-12**バックアップ**

電話帳や設定を復元する.....4-6

バックアップソフトのエラーコード一覧.....4-19

バックアップソフトをインストールする.....4-2

バックアップデータを保存する.....4-5

索引

バックライト設定	3-9
発信者番号通知	2-2
発信履歴	2-10
発信履歴を1件削除する	2-12
発信履歴を全件削除する	2-13
発歴ボタン	1-5
ハンドフリー	
ハンドフリーでお話する	2-2
ハンドフリーで電話をかける	2-3
ハンドフリーボタン	1-5
ハンドフリーランプ	1-6
左ボタン（上下左右ボタン）	1-5
付属品	1-4、4-15
プリセットダイヤル	2-3
保守サービス	4-30
ボタン	
ボタンと文字の割り当て一覧表	4-12
ボタンを押したときの音を消す	3-8
保留	2-7
相手に待っていただく	2-7
保留警報音	2-7、4-16
保留ボタン	1-5

【マ行】

右ボタン（上下左右ボタン）	1-5
無線注意シール	1-4
無線リピータ	1-3
メニュー/カナ/英字ボタン	1-5
メニュー操作	1-14
文字入力	
英字を入力する	4-10
カタカナを入力する	4-10
漢字やひらがなを入力する	4-9
数字を入力する	4-11
ボタンと文字の割り当て一覧表	4-12

【ラ行】

ランプ表示	1-6
留守番電話	
用件を聞く	3-3
用件をすべて消去する	3-4
留守が設定されている着信番号を確認する	3-2
留守の解除	3-3
留守の設定	3-2
留守ボタン	1-5
留守ランプ	1-6

【ワ行】

割込音	2-6、4-16
割込音通知	3-12

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or

work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law:

that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program’s source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a

storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement

or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus

excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A

PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon,
President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

4

に
参
考
に

仕 様

■仕 様

	UD-コードレス電話機本体	充電器
寸法・質量	49 mm (幅) × 36.4 mm (奥行) × 176 mm (高さ) 約170 g (電池パック含む)	85 mm (幅) × 94.5 mm (奥行) × 55.3 mm (高さ) 約75 g (電源アダプタを含みます)
使用環境	温度：5～35 ℃ 湿度：45～85 % (結露しないこと)	
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.7 V 1100 mAh	AC100 V (50/60Hz) 専用電源アダプタDC5V 2 A
消費電力	約1.7 W	約3 W
充電時間	5時間	—
通話可能エリア	UD-主装置から約30 m	—
連続通話時間	約4.5時間	—
連続待ち受け時間	約60時間	—
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置	

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。
- UD-主装置の設定や使用環境によって通話時間や待ち受け時間は変わります。あくまで目安として使用してください。

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した実費をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-242751

受付時間 24時間365日

※ 17：00～翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※ 故障修理などの対応時間 9：00～17：00

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-248995

受付時間 24時間365日

※ 故障修理などの対応時間 9：00～17：00

4

ご参考に

保守サービスのご案内

MEMO



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考慮して大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本 IP電話対応機器お取扱相談センター

 **0120-710444**

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7200（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT西日本 通信機器取扱相談センター

トークニーナ
 **0120-109217**

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2007 NTTEAST・NTTWEST



本2877-1 (2007.12)

UD-WPトリセツ<1>

4360060000 | H01